

## 5. ソフト施策計画

基本構想で示した組み内容		事業名および事業内容	実施機関	開始年度
		<p>事業名：視覚障害者誘導用ブロックの設置基準作成事業</p> <p>目的：視覚障害者が安全に目的施設に向かうための経路の確保</p> <p>対象：視覚障害者</p> <p>手段：関係機関により、メンバー構成を行ない、関係市民と設置基準の検討を行なう</p> <p>効果：視覚障害者誘導用ブロックを必要とする箇所を明確にすることで、適所に設置することができる。</p>	所沢市 道路維持課	16
基本構想及び事業実施のフォローアップ	基本構想の周知、事業実施状況の情報提供 ※1	<p>事業名：所沢市交通バリアフリー基本構想及び進捗状況等の情報提供事業※1</p> <p>目的：交通バリアフリー基本構想のPR、構想に基づき実施する事業の取り組み状況、先進事例の紹介及び市内におけるバリアフリーに配慮した施設の紹介など、市民に情報を提供するとともに積極的に啓発を図る。</p> <p>対象：市民、ホームページの閲覧者</p> <p>手段：所沢市のホームページにおいて交通バリアフリー基本構想の概要、各事業者が実施する事業、市民ができるバリアフリーのための取り組み、他自治体等で行っている先進的な事例を紹介する。 また、交通バリアフリー基本構想の概要、各事業者が実施する事業についてパンフレット等を作成する。</p> <p>効果：基本構想に基づき、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等が実施する事業、市内外におけるバリアフリーへの取り組みを情報提供することで市民の関心が高まり、市民自らが担うべき役割についても自覚してもらうことができる。</p>	所沢市 交通安全課	16
	継続的な協議機関（仮称：バリアフリー推進会議）の設置 ※2	<p>事業名：所沢市交通バリアフリー推進協議会運営事業※2</p> <p>目的：目標年次に向け、基本構想が実現できるよう特定事業計画の確認や進行管理を行うほか、子通バリアフリーに関する情報の交換、背策の提案等についての意見交換を行う。</p> <p>対象：所沢市交通バリアフリー基本構想に掲載されている「実施すべき事業」等</p> <p>手段：庁内組織として交通バリアフリー推進会議、外部組織として関係機関・市民・市職員による交通バリアフリー推進協議会を設置する。協議会は年2回程度の開催とする。</p> <p>効果：目標年度に向けて、計画的に事業が実施されるとともに、意見交換を通じて新たなバリアフリー施策の取り組みへのきっかけとなる。</p>	所沢市 交通安全課	16
市民参画によるバリアフリー化の推進	公共施設建設にかかる意見交換の場の設置	<p>事業名：公共施設建設にかかる意見交換事業</p> <p>目的：公共施設の計画・設置の段階で市内の障害者団体の紹介、連絡を行い担当課との意見交換等が迅速に行えるようにする。</p> <p>対象：庁内の公共施設の事業担当部署</p> <p>手段：障害者団体の名簿作成、障害者団体への電話等による連絡、日程調整</p> <p>効果：事業担当部署から障害者団体への速やかなアプローチが可能となり、スムーズな意見交換が可能となる。</p>	所沢市 障害福祉課	16
	（仮称）所沢市福祉のまちづくり条例の検討	埼玉県福祉のまちづくり条例に基づいてまちづくりを進めており、県条例の普及・啓発に努めるとともに市条例化について研究している。	所沢市 障害福祉課	未定
	継続的な協議機関（仮称：バリアフリー推進会議）の設置	所沢市交通バリアフリー推進協議会運営事業※2参照		

基本構想で示した組み内容		事業名および事業内容	実施機関	開始年度
バリアフリーに対する意識向上のための学習・啓発活動	高齢者や障害者との交流ができるイベントや講習会・シンポジウム等の開催	<p>事業名：「障害者の日」記念講演会内における啓発事業</p> <p>目的：障害福祉への理解と啓発を目的とした「障害者の日」記念講演会に合わせて、交通バリアフリー事業の当市での取り組み状況を紹介し、広く市民の理解を得る。</p> <p>対象：市内の障害者及び家族、民生委員、障害者団体等の関係者、一般市民</p> <p>手段：講演会を平成16年12月4日(土)の午後1時から3時頃まで計画しており、その時間内で担当課の交通安全課から冒頭30分程度の交通バリアフリー事業の説明をしていただく。</p> <p>効果：障害者福祉に関心が高い方の参加が多く、交通バリアフリー事業への理解、関心も広まると思われる。</p>	所沢市 障害福祉課	16
		<p>事業名：所沢市高齢者大学の講座における啓発事業</p> <p>目的：高齢者大学の学生を対象に交通バリアフリー事業の取組状況を紹介する時間を設けて広く事業への理解と啓発及び意識の向上を図り、さらに市民参加によりバリアフリーの推進にもつながると思われる。</p> <p>対象：市内に住所を有する60歳以上の者</p> <p>手段：毎年、高齢者に対し生涯学習の一環として、4月から翌年3月まで多彩な講座を設けて学習しているが、その中に1単位2時間を交通バリアフリーの事業説明に充てる。また、講座の中に交通安全教室があるので、その時間の中でも一部を事業説明に充てる。</p> <p>また、高齢者大学の各期の卒業生は、OB会を組織して卒業後も活動していることから、現役の学生だけでなく、卒業生にも広く広報啓発活動を進めていく。</p> <p>効果：市内、各地区から学習意欲のある者が受講しているため、交通バリアフリーへの理解、関心が高まると共に、学生に直接関係することなので、バリアフリーに対する意識の向上が図れる。</p>	所沢市 高齢者いきがい課	17
	学校教育の場での生徒・児童の意識の向上	<p>事業名：学校教育の場での生徒・児童の意識の向上事業※3</p> <p>目的：学校教育の場でバリアフリーに対する児童生徒の意識向上のため</p> <p>対象：市内小中学校の在籍する児童生徒及びその保護者並びに教職員</p> <p>手段：①各教科や総合的な学習の時間、道徳の時間においてバリアフリーに関する教材を年間指導計画に位置づける。 ②ボランティア・福祉教育の意義を全教員で共通理解し、学校教育の中に位置づける。高齢者や障害者への正しい理解と思いやりを育成するため、ボランティア活動・福祉体験を実施していく。</p> <p>効果：①交通ボランティアの取組に参加する児童生徒、保護者、教職員の増加 ②高齢者や障害者との交流の促進</p>	所沢市 教育委員会 学校教育課	16
	継続的なバリアフリー点検等の実施 ※3	<p>事業名：バリアフリー点検事業※4</p> <p>目的：重点整備地区内における特定事業の進捗状況を確認するとともに、他の地区におけるバリアの状況についての情報を収集する。</p> <p>対象：重点整備地区</p> <p>手段：市民、関係事業者等により、重点整備地区内の実地点検を行う。あわせて市内におけるバリアフリー状況についての意見交換、アンケートを実施する。2年に1回程度の開催とする。</p> <p>効果：実地点検を行うことにより、各事業の成果を確認するとともに、各事業者が意見交換やアンケートから課題等を把握することにより、適切な対応を図ることができる。</p>	所沢市 交通安全課	18
市職員のバリアフリーに対する意識の向上	<p>事業名：(仮称)交通バリアフリー研修会開催事業</p> <p>目的：バリアフリーやユニバーサルデザインの重要性を理解し、高齢者、身体障害者をはじめ多くの市民が使う道路や公共施設の設計、建設、建築等の日常業務に活かす</p> <p>対象：道路や公共施設等の設計・建設にかかわる市職員</p> <p>手段：①所沢市交通バリアフリー基本構想の概要の紹介 ②交通バリアフリーに関する先進事例の紹介 ③大学研究者等による意識啓発のための公演</p> <p>効果：バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮することにより、誰もが使いやすい施設、本来ならば不要な改良などの2重投資が防止できる。</p>	所沢市 交通安全課	17	

基本構想で示した組み内容		事業名および事業内容	実施機関	開始年度
バリアフリーに対する意識向上のための学習・啓発活動		<p>事業名：職員手話講習会（初級）開催事業</p> <p>目的：手話により、担当業務の説明及び公共施設の案内ができるように取り組むことで職員のバリアフリーに対する意識の向上を目指す。</p> <p>対象：窓口業務を担当する職員</p> <p>手段：週1回、延べ13回の初級講習会を実施する。</p> <p>効果：日常業務を通じて、バリアフリーの意識の向上が図られる。</p>	所沢市 福祉総務課	17
		<p>事業名：市職員のバリアフリーに対する意識の向上（障害者就労紹介事業）</p> <p>目的：障害者の就労活動を紹介することで就労面から職員に障害者への正しい理解を進める。</p> <p>対象：全職員</p> <p>手段：就労支援センターの活動紹介、メールによる庁内への障害者に向けた仕事募集</p> <p>効果：実際の障害者の就労活動にふれることにより、職員の障害者への理解が深まりバリアフリー意識の向上へとつなげる。</p>	所沢市 障害福祉課	16
	事業者、事業者のバリアフリーに対する意識の向上	<p>事業名：事業者、事業者のバリアフリーに対する意識の向上事業</p> <p>目的：誰もが気軽に安心してショッピングをしたり、レジャーを楽しむために、事業者や事業者が施設のバリアフリー化や真心のこもったサービスなどを積極的に推進することにより、地域コミュニティの振興や地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>対象：大規模小売店舗 45店舗 商店街 58商店街 集客施設 西武ドーム・市民文化センターミュージズなど 観光施設 ユネスコ村大恐竜探検館・西武園ゆうえんち・航空発祥記念館など</p> <p>手段：上記事業者を対象に、研修会・セミナーを開催する。セミナーには、講師の先生をはじめ、高齢者や障害者を招き、実際に困った体験や良かった件、改善してほしい点などを話してもらい、事業者側の今後の対応を協議していきたい。</p> <p>効果：まず商店街や観光事業者などが積極的にバリアフリー化を実施することにより、あらゆる人にやさしい街づくりを推進し、街全体のイメージアップが図られる。</p>	所沢市 商工労政課	16
		<p>事業名：障害者雇用優良事業所表彰事業</p> <p>目的：常用労働者として、障害者の雇用に理解ある事業所を表彰し、もって雇用促進及び職業安定を図ることを目的とする。</p> <p>対象：身体障害又は知的障害がある者。</p> <p>手段：障害者の法定雇用率の遵守を啓発すると共に、障害者雇用優良事業所表彰事業を行うことで、上記目的の達成を図る。</p> <p>効果：障害者の雇用が促進され、職業安定につながる。</p>	所沢市 商工労政課	→
	自動車・自転車利用者の交通弱者に対する交通安全意識の向上	<p>交事業名：交通安全教育推進事業</p> <p>目的：自転車運転の際、日常生活の中にある交通弱者に対する様々な危険に気付いて、交通ルールを守り、事故を未然に防ぐ意識と相手をいたわる心遣いや態度を身に付けさせる。</p> <p>対象：児童・生徒、高齢者、地域住民</p> <p>手段：①学童等を対象とした自転車の正しい乗り方の交通安全教室を実施し、自転車と歩行者が安全で安心して通行できるよう指導する。 ②小学4年生以上を対象とした安全講習を実施しその後、学科試験と実技試験により合格者に子ども自転車運転免許を交付し、交通安全意識の醸成を図る。</p> <p>効果：自転車の運転者は、交通ルールを守り、「危険の回避方法」を得とくし、交通事故防止のための意識向上が図られ、交通弱者の歩行がスムーズになる</p> <p>備考：現在、児童・生徒が中心となっているが、警察、教育委員会等との一層の連携を図りながら、高齢者や地域住民を対象とした交通安全教育の充実を図る。</p>	所沢市 交通安全課	→
バリアフリーに関する情報収集・提供	<p>事業名：バリアフリーに関する情報収集・提供事業</p> <p>目的：障害者が安心して暮らしていくために、日常生活や社会生活に必要な各種サービスについて情報提供の充実を図る。</p> <p>対象：市内の障害者及び家族、一般市民</p> <p>手段：ガイドブックの充実、インターネットの活用など情報提供の充実を図る。</p> <p>効果：社会参加の促進</p> <p>その他：バリアフリーマップ等の作成等も今後の研究課題の一つとなる。</p>	所沢市 障害福祉課	16	

基本構想で示した組み内容		事業名および事業内容	実施機関	開始年度
バリアフリーに関する情報収集・提供	基本構想の周知、事業実施状況の情報提供	所沢市交通バリアフリー基本構想及び進捗状況等の情報提供事業※1参照		
	先進事例等の情報収集・提供	所沢市交通バリアフリー基本構想及び進捗状況等の情報提供事業※1参照		
安心、安全な環境の整備	商品や看板等のはみ出し対策	<p>事業名：商品・看板等のはみ出し対策事業</p> <p>目的：視覚障害者が安全に通行するため、商店の商品、看板のはみ出し是正</p> <p>対象：商店街の商店、会社経営者</p> <p>手段：商店、会社経営者に対し所管機関から啓発や指導の実施</p> <p>効果：商品、看板のはみ出しを無くすことにより歩行空間の確保が出来る</p>	所沢市 道路維持課	17
	継続的なバリアフリー点検等の実施	バリアフリー点検事業※4参照		
	気配り、支え合いの実践	<p>事業名：駅ボランティア事業</p> <p>目的：所沢市における心のバリアフリーを推進するためのモデル事業として、航空公園駅、新所沢駅を利用する高齢者や身体障害者などが安全で快適に移動できるよう、困っているのを見かけたら、ホームへの案内、手荷物の運搬、キップの購入、乗降の補助及び通路や階段の移動等の支援をすすんで行う。</p> <p>対象：ボランティア：航空公園駅又は新所沢駅を利用する中学生以上の方 手助けを受ける方：高齢者や身体障害者などの困っている方</p> <p>手段：①活動前に体験会を実施し、駅における車いす利用者や視覚障害者の方などの適切なサポートの仕方を学習する。 ②体験会参加者に駅ボランティア証を発行する。 ③通勤・通学などで駅を利用する際に、ホームへの案内、手荷物の運搬、キップの購入、乗降の補助及び通路や階段の移動の支援を行う。</p> <p>効果：サポートにより高齢者や身体障害者の方などがスムーズな移動が可能になり、社会参加の機会が増える。</p>	所沢市 交通安全課 西武鉄道	16